

P.U.P. News

VOL. 1

2020年4月20日(月) 発行

発行元：進路指導部

御入学・御進級 おめでとうございます

保護者の皆様、お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、突然の休業期間で心身共に疲れていないでしょうか。やっと新入生を迎え、新学期がスタートしました。今年度も生徒の目標実現のために進路指導部として、取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

さて、新入生のみなさんに覚えて欲しいこの通信の名称でもある「PUP」についてです。在校生には再確認になります。「PUP」とは、「Pile Up Plan」の略称です。「積み上げる」という意味の英語「Pile Up」からきています。

中高一貫校である本校では、中学1年生から将来のことを見据えて、人生設計を模索・構築し、自分の夢に向かって高校卒業時に自信を持って進路実現をしようという目的があります。「PUP」は、本校独自の進路教育プランの総称になっています。

各学年において1年を通して行うことは、大まかに以下の通りとなります。自分の学年を確認しましょう。

- *中1～中2…「自己の長期スパン（30年後・20年後・10年後）の将来像」と「職業観」を学ぶ。
- *中3～高1…「自己の短期スパン（7年後・5年後・3年後）の将来像」と「学部学科・資格研究」を学ぶ。
- *高2…「受験科目の選定」と「受験校選定」の時期とし、希望進路先を明確なものとしていく。
- *高3…明確な進路希望先を確定し、自己完成を目指す。

進路指導部員の紹介

本村 直樹（数学科）

保護者の皆様、今年度より進路指導部長を務めさせていただくことになりました数学科の本村です。今年度は私の専門であるキャリア教育を中心に一人ひとりのタレントを見つけ伸ばしていく仕掛け（きっかけ）作りに励んで参りたいと思います。生徒の皆さん、是非、自分の強みに更なる磨きをかけ、誰にも負けない（譲れない）ものを見つけましょう。

宮國 佳子（理科）

去年に引き続き、進路指導部を担当する理科の宮國です。

『使命を自覚したとき、才能の芽は急速に伸びる』といます。将来のビジョンや、大学を意識すると、自然と今の成績を上げるにはどうすればよいか、自分に必要な勉強は何なのかが見えてくると思います。進路指導を通じて、その手助けができることを嬉しく思います。1年間よろしくお願い致します。

天久 美穂子（社会科）

今年度より皆さんの進路をサポートすることになりました。情報や選択肢が多い現代だからこそ、生徒の皆さんには、様々なことにチャレンジし、自分の進むべき道を見つけて欲しいと思っています。何事に対してもより上を目指そうとする向上心を持って頑張る皆さんが、上のステージへ上がるためのサポートをしっかりと務めていきますので、よろしくお願い致します。

謝敷 実也（数学科）

1年ぶりに進路指導部に戻って参りました。昨年度は生徒指導部で遺失物の担当をしていました。半年に一度ピロティで遺失物を広げて生徒に声掛けをしていると、電子辞書やベルト、靴などビックリするような忘れ物が多々ありました。気付かないんじゃないかと、自分の物に対しての大事さがかなり薄いと感じました。日頃の行動に自覚を持って、自分の人生は自分で責任を持てる人になりましょう。1年間よろしくお願い致します。

神谷 晃輔（英語科）

ご入学・ご進級おめでとうございます。新しい年度を迎えたので、気持ちも新たに日々頑張りたい。先の読めない状況でも、今の自分をきちんと分析し、今後を見据えた行動が一人ひとりに求められていると思います。一日一日を大切に、やるべきことに取り組むことで、目の前の状況に柔軟に対応できる力を身に付けるようにしましょう。よろしくお願い致します。

真栄里 賢治（数学科）

今年度から「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に変わります。当初変更の軸となっていた記述問題の導入や外部検定の利用は見送られましたが、それでもセンター試験に比べてより読解力や思考力を要するものになりそうです。大学入試の内容自体も変化してきており、進路指導部の一員として生徒に適切な入試情報が提供できればと思います。

枝松 ひとみ（理科科）

進路指導の教諭として1番に望むことは、本人が希望する大学に合格すること。

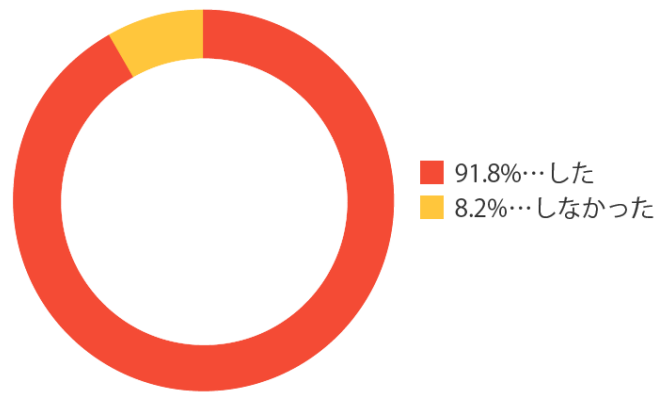
これこそが高校3年間の集大成とっております。

本人の強い意志と保護者の方々のバックアップと共に我々教諭が一丸となって邁進していければと望んでおります。1年間宜しくお願い致します。

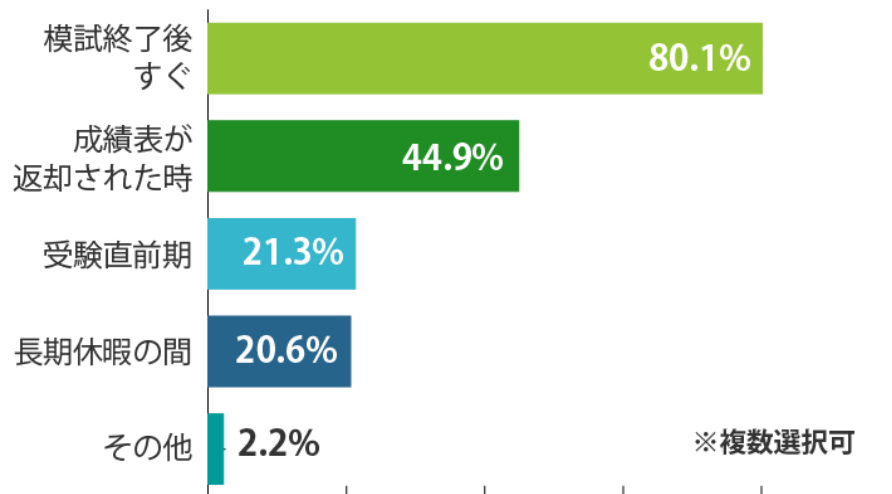
実現させましょう！君たちの輝く未来のために。

模試の活用法

Q. 模試の復習はしましたか？



Q. いつ復習をしましたか？



上図は全国の現役大学生のデータです。

模試は受験するだけではその効果も半減してしまいます。間違えたところはとくに重点的に復習をしましょう。一度で復習を終えようとしなくていいことが重要です。復習する教科に優先順位をつけて、優先順位が高い教科は当日のうちに解説を読み込んだり、参考書で確認していきましょう。また、解説を読んで終わりにはいけません。一通り全ての教科に目を通し終わったら、数学ならば時間を計って解きなおす、英語の長文を読み直すなど解きなおしを必ず行いましょう。

模試の結果に一喜一憂しないことが一番大切です。もし結果が悪くても本番じゃなくて良かったとポジティブに捉えましょう。逆に結果が良かったとしてもこの成績を本番でも残せるようにさらに頑張ろうと気を引き締め直しましょう。模試で結果を残すことが皆さんの目標では無いはずですが、そこを勘違いしないことが最も大切だと思います。

<kei-net より参考>

ポートフォリオって何？

～ポートフォリオ評価とは？～

自己評価として最近注目されているのが、ポートフォリオ評価です。生徒が作ったポートフォリオを合否に使う取組みが始まる大学も出てきます。（「JAPAN e-Portfolio」のサイトでは参画大学一覧が随時更新されています。）ポートフォリオ評価とは学んだ資料やワークシートやレポート、作文などの学習履歴をクリアファイルやバインダーなどに時系列に綴じていくというものです。ポートフォリオ評価には次のような効果が期待されます。

- 1、自分自身が何を学んだかが明らかになり、何が課題かを明らかにすることができる。
- 2、その結果、次の学習の計画の策定や次の活動に意欲的に取り組むことができる。
- 3、達成感や自己有効感を育成することができる。

このようにポートフォリオ評価は、自分自身による形成的な役割を持った自己評価として有効な方法で「総合学習」をより効果的に展開していくことを可能にします。また、進路選択やAO入試・推薦入試の際などにも威力を発揮します。まずは自分自身が取り組んできたことの証として様々なものを綴っていきましょう。自分のことは自分自身しか知らないものですが、ファイルを見ることによって自分自身を客観視することができます。

自習室のススメ

3階奥の左側に進路資料室があり、自習室として主に高校生が利用しています。中学生は図書館を自習室として利用できます。進路資料室の利用時間は、朝 7:00 ~ 7:50、放課後 終礼後 ~ 18:20 となっています。赤本などの問題集、先輩方の推薦入試を終えてのアドバイス集も置いています。進路実現に向けてぜひ活用して下さい。利用する際には以下の基本的マナーを守って利用してください。

<自習室利用心得>

- ①自習室では制服の正しい着用で学習すること。制服の上にジャージ類を着たり、運動着での学習は禁止。
- ②飲食・居眠り・私語は厳禁。
- ③電子辞書以外の電子機器の使用は禁止。
- ④過去問題利用は自由だが持ち出しは基本的禁止。
- ⑤資料室のパソコン利用は監督者の許可を得てからすること。



マナーを守ってみんなが気持ちよく使えるようにしましょう!!